

～開業奮闘記～

# 誰が興味あるねん

八治電

## 第43話 「人は見た目が9割」

今まで経営を続ける中で多くのスタッフを迎えてきましたが、最初全く根性もやる気もなさそうに見えた人が実はめちゃくちゃ裏で頑張っていたり、逆にやる気も根性もありそうな人がそうではなかった・・・という事をたくさん経験してきました。

その度に、「人は見た目で判断してはいけない」という事を痛感するのです。

これは18年くらい前の出来事です。ある日、とある商店街を赤ちゃんを抱っこして歩いていた時のこと。パチンコ屋の前にワンカップ大関を片手に1人でブツブツ何か言っている、下顎に歯が3本しかない見るからにヤバそうなおじさんが座っていました。

『前を通るの嫌いな・・・』と思ったのですが、目的の店には前を通らないと行けません。仕方なくおじさんの前を通ると・・・

「○▽※\$%★！！！！！」

と、おもむろに後ろから何か叫ばれたんです。

『うわ・・・ダルいな・・・』と思い振り返ったら、どうやら何か指差して僕に伝えようとしているように見えました。その指を指す方を見てみると・・・、赤ちゃんの脱げた靴が落ちていて、おじさんはそれを教えてくれていたのです。

お礼を伝えると、おじさんは満面の笑みで返して下さいました。

もう一つも18年くらい前の事。

ある日神戸の三宮で飲んだくれて、目が覚めたら深夜の路上で寝てしまっていたんです。  
ただ、持っているはずのカバンが見当たらない。

財布もカードも携帯も何もかもカバンに入れていたので、文字通りすっからかんです。

焦ってあたりを見渡すと・・・近くに路上生活者の人たちが何人が寝ているのが見えました。僕は焦っているしまだ酒が入っている状態だったので、勝手に「この人達が盗んだ」と思い込み、その人達に詰め寄ってしまったのです。

寝ているところを叩き起こされたその人達は、「何のことやねん」といった表情（当たり前です）。

「ちょっと兄ちゃん落ち着け！」と諭され、事情を説明したら「それは大変やなあ」と言って、その方々がしばらく周辺をカバンが無いか探してくれたんです。

結局カバンは見つからず、そのまま交番に行って紛失届を出しました。交番を出る頃には夜が明けていたので、一応その方々にも改めてお礼を伝えに行きました。

「見つかったらええなあ、でも外で寝るのは危ないからこれから気をつけなあかんで～」

と、説得力あるのか無いのか分からない言葉をかけて頂きました。

思い出はいつの日もビターです。

後日クレジットカード会社から連絡があり、深夜のドンキホーテでゲームやら何やらを爆買いされていた形跡があったので（カードを停止する前に一気に買われた）、どうやらヤンチャな若者に盗まれたのが事実のようでした。

皆さん、人を見た目だけで判断するのはやめましょう。